

「授業備品」N029 H. 29. 1. 16「板書のユニバーサルデザイン 2」（6県に配布中）

学習指導要領の答申（第3章の2教科等を学ぶ意義の明確化）・現行学習指導要領は、各教科等において「教員が何を教えるか」という観点を中心に組み立てられており、一つ一つの学びが何のためか、どのような力を育むものかは明確でない。各教科の縦割りを超えた指導改善の工夫やが重要である。***教科横断的な指導**



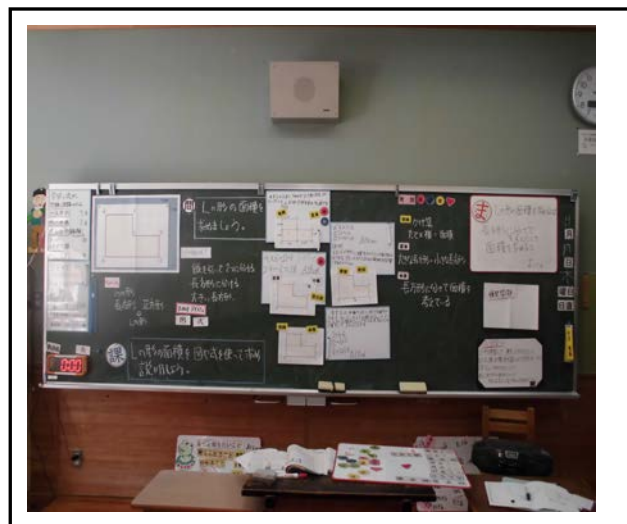
精華小 1 年



精華小 2 年



精華小 3 年



精華小 4 年



精華小 5 年



精華小 6 年

教科、担任の指導方針を超え、板書が同じことに気が付く。板書のユニバーサルデザイン化により、子供たちはどの先生からも同じ内容の指導を受けることができる。

学習指導要領の答申（第3章の1生きる力の具現化）

・対話や議論を通じて、自分の考えを根拠とともに伝えとともに、他者の考えを理解し、自分の考えを広げ深めたり、集団としての考えを発展させたり、他者への思いやりを持って多様な人々と協働していけることができること。＊授業の中で培う



葉山小1年



葉山小2年



葉山小3年



葉山小4年



葉山小5年



葉山小6年

2校の教科を超えた板書から、子供たちの対話や議論、自分の考えを根拠とともに伝える、他者の考えを理解する、自分の考えを広げ深める、集団としての考えを発展させる、他者と協働して学ぶ様子が伺える。学力向上のに成果を上げた実践校の板書はみな同じである。